

団体だより

異業種交流会

長野県での学び

―国内視察研修会を開催―

6月4日～5日、長野県への国内視察研修会を実施しました。好天に恵まれ、青空が広がる松本空港に降り立った一行は、伊那市にある国内トップシェアの寒天メーカー「伊那食品工業株」を訪れました。同社は「かんでんぱぱ」のブランドで知られ、2008年には創業以来48年間増収増益を達成しました。毎年着実に成長する経営に注目する経営者は多く、大手上場企業を含め多くの企業が見学に訪れています。視察を終えた参加者は「勉強になった。自社でもできることは実践していきたい」と大きな収穫を得た視察となりました。その後は、創業から150年以上の老舗味噌蔵での食事や、国宝松本城の観光などを楽しみました。参加者からは「視察先での有益な話や観光、地元の食材を活かした料理など、充実した1泊2日だった」との声が聞かれました。（参加者は10名）

青年部

加古川を盛り上げる存在に

―近畿ブロックYEG令和6年度春の会長会議を開催―

5月25日に令和6年度近畿ブロック商工会議所青年部連合会「第一回定期総会」並びに「春の会長会議」が行われ、近畿ブロックの役員、近畿出向者、各単体会長、総勢250名が参加し加古川を満喫していただきました。第一回定期総会はSHOWAグループ市民会館小ホールにて行われ10議案が審議され全てが全会一致で可決されました。



定期総会の様子

続いて、場所を加古川プラザホテルに移し、春の会長会議を行いました。会長会議では近畿ブロックに加盟している51の単会の会長が集まり、それぞれの単会が抱える悩みや地域の関わり方などの成功事例を紹介し、そのテーマでグループディスカッションを行い、問題点を共

有して解決策を見出しました。後半は例会の参加率についてグループに分かれディスカッションし、各地域に持ち帰りチャレンジすることを約束しました。その後、250名が一堂に会しての大懇親会をプラザホテル鹿兎の間で執り行いました。開催地代表挨拶では山本会長が登壇し、その際には加古川のメンバーが盛り上げに会場を取り囲み加古川YEGの団結力を見ていただけました。この日を迎えるまでの準備、前日からの設営、当日の運営をメンバー全員で協力し作り上げたことで、何か事業をする上で一人ではできないこと、逆に多くの人でやればなんでも出来るということが再認識できた日になったのではないかと思っております。今後、加古川YEGメンバーだけではなく、加古川市など地域の方々とも一層団結することが来年の第43回近畿ブロック大会かこがわ大会が成功することにも繋がりますし、ひいては加古川地域が盛り上がり、いくことに繋がると強く信じています。

（春の会長会議 現場監督）

商工かこがわの表紙・エッセイに登場しませんか

当所から毎月1日に発行している「商工かこがわ」の表紙とエッセイにご登場いただける事業所を募集します。（掲載時期については要相談）

表紙では、新事業を始めたので知ってほしい、ほかの企業にはないおもしろいことやっている、新商品の販売を開始した、一緒に頑張る従業員の皆様と登場したいなど、お気軽にご相談ください。

エッセイでは、仕事の話題以外にも趣味の話、密かに挑戦しようとおもっていること、人生を振り返って…など、ご自身について執筆いただけます。

●お問い合わせ 会員課

TEL 079・424・3355

